

**No. 3** 2001年10月発行

# 淀川水系 流域委員会 淀川部会ニュース

<http://www.yodriver.org>

## CONTENTS

第3回淀川部会の内容	P.1
第3回淀川部会の説明資料より抜粋	P.6
これから開催される委員会および部会等について	P.13
これまで開催された委員会および部会等について	P.13
淀川部会委員リスト	P.14
当日資料の閲覧・入手方法	P.15

平成13年7月6日(金)、第3回淀川部会が開かれました。



【大阪全日空ホテル「万葉 東の間」にて】

## 第3回淀川部会の内容

18名の委員が出席し審議が行われました。河川管理者及び委員から環境をテーマとした現状説明があり、その後現状認識についての意見交換が行われました。また、8月に実施予定の現地視察についても、審議が行われました。

### 第3回淀川部会(2001.7.6開催)速報

2001年8月1日現在

#### 1. 第3回委員会の概要

第3回淀川部会は、部会長代理が司会進行を行った。今後は部会長、部会長代理が交代で司会進行を行う予定。

第3回委員会の概要(資料1)について部会長代理より説明があった。

#### 2. 淀川水系の現状説明

紀平委員より、淀川に生息する魚の生態(樟葉のワンドに棲むコイ、淀川大堰を遡上するアユ等)について、VTRを用いての説明があった。

河川管理者より「河川環境と河川利用の現状と課題」について以下の説明があった。

##### 【生態系】

変化する淀川の生物

生態環境の変化要因

単調・ドライから、多様・ウェットへの取り組み

##### 【河川利用】

水利用

#### 3. 淀川水系の現状認識についての意見交換

(主な発言内容)

淀川水系の現状説明について、今回の説明はこれまでの中で一番よく、淀川の問題が見えてきた。

魚のメス化についての記事を見たが、淀川水系から大阪湾へ流れ込む環境ホルモンが引き起こす現象についてのデータがあれば教えて欲しい。

大阪湾の環境ホルモンやダイオキシン等に興味がある。建設省と運輸省が統合されて国土交通省になったので港湾部門との連携を図り、そのようなデータも把握するようにして欲しい。

大阪湾の環境ホルモンに関するデータは淀川工事事務所にはない。大阪府等が把握していると思うので、データの有無を調べ報告する。(河川管理者)

関連する団体等が持っているデータの有無も調べ、大阪湾の環境ホルモンに関するデータを説明する機会を設けて欲しい。(部会長代理)

現地視察の際、宇治川に奇形のオイカワが大量に発生したことを聞いたが、現在も宇治川で発生しているのか。淀川のアユの遡上について、宇治川だけではなく、桂川、木津川への遡上についての実態も教えて欲しい。サケ・マス等のデータもあれば教えて欲しい。

森下郁子氏(猪名川部会委員)の著書『生物からのメッセージ 川と湖の博物館(5) バイオロードの生物』によると、年間3~4万匹のアユが遡上しているらしい。木津川についてもアユがたくさん獲れるらしいが、放流されているので、遡上しているのかわからない。高山ダム、相楽発電所等の堰がない頃、かつて名張川にマスが上っていた。

イタセンパラが木津川下流で発見されたことは、淀川の冠水頻度の低下と関係があり、安住の地を求めて木津川に遡ってきているのではないかと思う。淀川のイタセンパラは保護されていると聞かすが、木津川については公的に確認されていないため、保護されていない。

淀川では、昭和46年頃、アユは全く獲れなかったが、昭和50年には、長柄可動堰でアユが獲れるようになっていた。昭和58年には淀川大堰ができ、アユのための魚道をつくり遡上しているが、それでも不備な点はある。

生物について、淀川水系は長い歴史や固有種を有する琵琶湖を含んでおり、他の河川と違うということを理解する必要がある。琵琶湖の持っている長い歴史や生物の固有性が、今日までどう担保されてきたのかわからない。琵琶湖・淀川水系として、歴史、固有性に配慮する必要がある。アユがどんどん遡上すればよいというものではなく、それが歴史や固有性を壊す恐れもあるので、非常に怖い面がある。

淀川大堰の湛水域で淀川の小アユが育っている。海産のアユは本来、河口域で産卵するはずであるが、淀川大堰の関係もあり、木津川、宇治川の色々な砂礫帯のポイントで産卵している。海産のアユが海に戻れず、ダム湖でアユが再生産されているのかもしれない。

アユが海から上ることには関心を払うが、下ることについては関心を払わないという面がある。アユが海に戻れないのは、我々人間が再生産のサイクルを断ったせいであり、生物学的に考えたら異常なことである。

サツキマスは昭和12年の農林水産省の資料によると、淀川で76トンの漁獲量があり、日本一であった。

河川法が改正され、治水・利水・環境の三本柱になったことには敬意を表す。今日のテーマは環境だが、環境に対しては何を言ったらよいのかわからない。治水・利水については基準が明確であるため、訴訟を起こしやすい。しかし、環境についてはどう訴えたらよいのか難しい。それは、環境の目標が明確でないからである。今後、環境についての総合的な目標をつくっていくことが大切であり、そうしないと局所

的な議論になってしまう。

現在は環境についての目標はない。淀川水系河川整備計画を策定するにあたり、本流域委員会で、まず淀川水系の現状認識を行い、課題を共有したい。課題を共有化してはじめて、環境についての目標も浮き彫りになってくると考えている。(河川管理者)

上流の賀茂川について問題提起したい。20世紀は水資源開発、ダム開発等の経済優先の公共事業が時代の流れであったが、現在に至り、森や海等の自然を蔑ろにしたつげが現れているのではないか。

洪水への危険意識も大切だが、より重要な問題は汚染である。水質について、クリアしているとの話があったが、人間に対してなのか、生物に対してなのかははっきりしない。

人間中心的に河川を操作するという従来の考えではなく、水、河川への信仰、畏敬の念を抱き、生きる命のための環境という意識を抱くことが大切ではないか。このためにも、子供への教育が非常に大切だと思う。

第1回部会において、委員会、各部会の進め方についての議論をした。淀川水系流域委員会は、委員が主体的に役割を担うという従来にはない委員会となることを目標として設立された。その中でまず、淀川水系の現状の認識を深めるため、現地視察等を行い、様々な角度で学習を行うということになった。このように、現状認識を進めることによって、秋頃には検討課題の輪郭が見えてくると考えている。(部会長)

本日の部会では、紀平委員から説明があったが、次回部会から、毎回1～2名の委員から淀川水系の情報提供をしてもらい、学習を進めることとしたい。(部会長)

今後、現地視察等を開催する場合は、河川管理者の資料のみではなく、委員からの該当分野に関する資料提供もしてほしい。

学校教育、地域の子供を教育することがこれからの河川づくりには重要であると思う。委員は、河川管理者に対して意見を言うのか、それとも河川管理者になったつもりで考えればよいのか、まず整理をしないと議論が発散する。

湧水についての説明があったが、琵琶湖の湧水なのか、淀川の湧水なのか、よくわからない。

NGOの取り組みは、専門家を招いて議論する等、色々実施しており、進んでいるという認識を持って欲しい。

審議時間が短い。3時間は必要ではないか。

#### 4. 現地視察について

現地視察について、次のような意見があった。

- 現地視察は直轄管理区間外も行うべきだと考えており、上桂川も含めて欲しい。
- テーマやどこに重点を置いて視察するかを先ず決める必要があり、場所は後からついてくるものと考えている。

- 漁業の面で特に重要な河川は、近畿では上桂川と木津川上流であり、視察すべきである。

#### 5. 一般傍聴者からの意見聴取

(主な発言内容)

淀川の河川公園を、現在の面積の4倍以上に広げるといふ計画があるようだが、計画の内容と予算を、データとして示して欲しい。費用と環境に及ぼす影響を考慮して計画を進めて欲しい。(一般傍聴者)

昨年よりフォローアップ委員会を開いており、今年度から淀川の河川公園の基本構想を全面的に見直すことになっている。河川公園の整備も淀川水系河川整備計画に関わってくることなので、フォローアップ委員会の状況は委員会、もしくは部会に適宜報告したい。(河川管理者)

#### 6. 決定事項

次回部会からは、毎回1～2名の委員から淀川水系の情報を提供してもらい、現状認識を進める。

次回現地視察について、以下の通り決定した。

8月9日(木)、8月11日(土)、8月19日(日)の3日の日程で現地視察を行う。「木津川上流域」「木津川下流、桂川下流域」「桂川上流域」の3地域を1日ずつ視察する。

3回の現地視察のうち、1回は委員の意見交換の時間を2～3時間確保する。

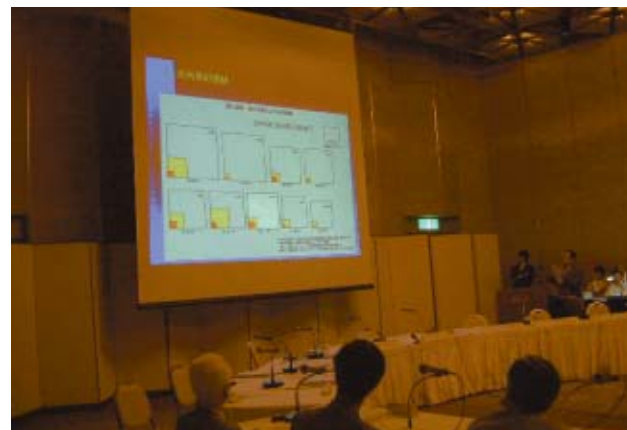
庶務と河川管理者で現地視察の計画(案)を作成し、各委員に示す。

9月早々に通常の部会を行う。

以上

注：速報は、会議の概要をできるだけ早くお伝えするものであり、随時修正される可能性があります。最新の速報はHPに掲載いたします。

\*この部会速報は府県等の記者クラブに配布しています。



### 説明資料一覧

#### ・配付資料

資料名		作成主体	ボリューム ( )内は頁数
議事次第		庶務	A4(1)
資料1	第3回委員会速報	庶務	A4(4)
資料2	次回現地視察の出欠状況とご意見	庶務	A4(2)
資料3	会議の運営に関する決定事項	庶務	A4(2)
参考資料1	第1回部会、第2回部会(現地視察)の概要	庶務	A4(3)
参考資料2	委員および一般からの意見	庶務	A4(8)

#### ・配付資料以外に説明に用いられた資料

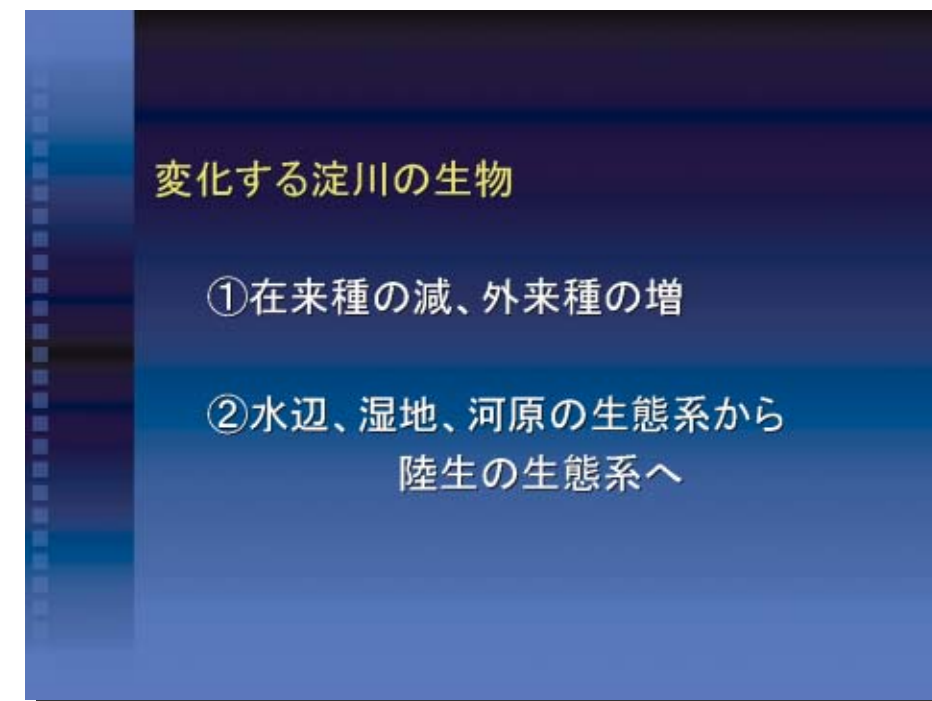
資料内容	説明者
淀川水系の現状(環境・水利用)に関するパワーポイントデータ、写真、グラフ等	河川管理者

紙面の都合上、資料内容は省略しています。資料をご覧になりたい方はP.15の「当日資料の閲覧・入手方法」をご覧ください。なお「配付資料以外に説明に用いられた資料」については、閲覧のみ可能です。

## 第3回淀川部会の説明資料より抜粋

第3回部会では、現状説明として、委員によるVTRを用いた説明と、河川管理者による説明がありました。以下に河川管理者説明資料より主なものを掲載しています。

### 生態系(生物) - 「変化する淀川の生物」



### 生態系(生物) - 「増加、減少傾向にある魚介類」



生態系(生態環境) - 「生態環境の変化要因」

**生態環境の変化要因**

- ① 整形された河川形状
- ② 冠水しない高水敷
- ③ 中流域の湛水化
- ④ 高水敷の都市的利用

生態系(生態環境) - 「河川環境の変化(低水路改修)」

**3.1 河川環境の変化**

①低水路改修(縦断面変化)

鳥飼大橋 17k 22k S35

水制工の消失

低水路の直線化、護岸整備、低水路断面の拡大、高水敷の造成、河床掘削

鳥飼大橋 鳥飼仁和寺大橋 17k 22k H9

生態系(生息環境保全対策) - 「新設ワンド設置状況」

**新設ワンド設置状況**

← 本川 上流側

6月15日出水により水位上昇。隣接ワンドからの水交換状況

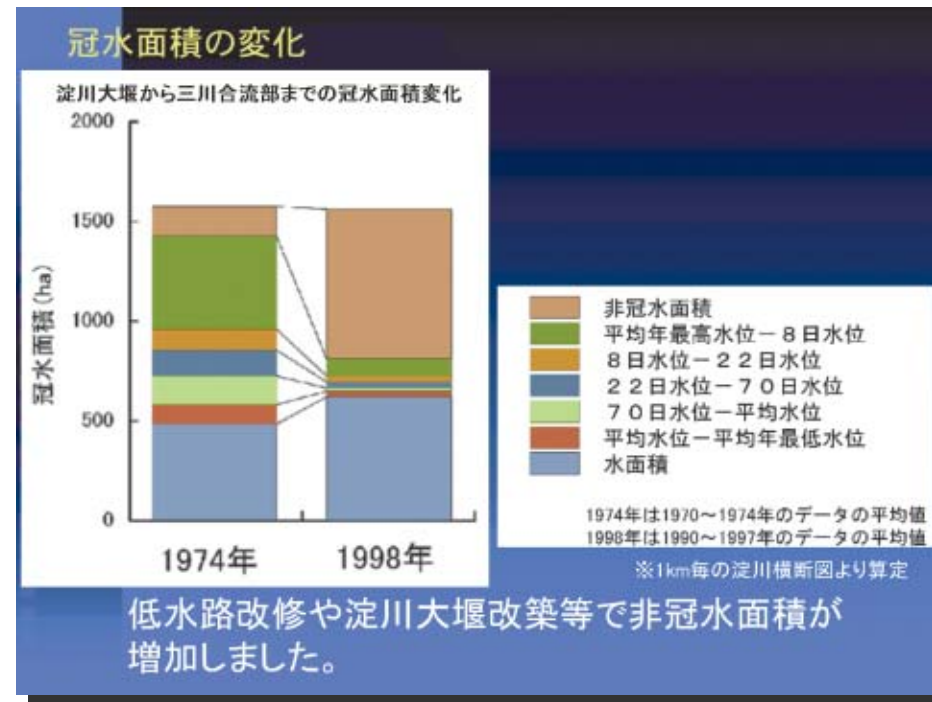
出典: 淀川工事事務院

生態系(生息環境保全対策) - 「単調、ドライから多様、ウェットへの取り組み」

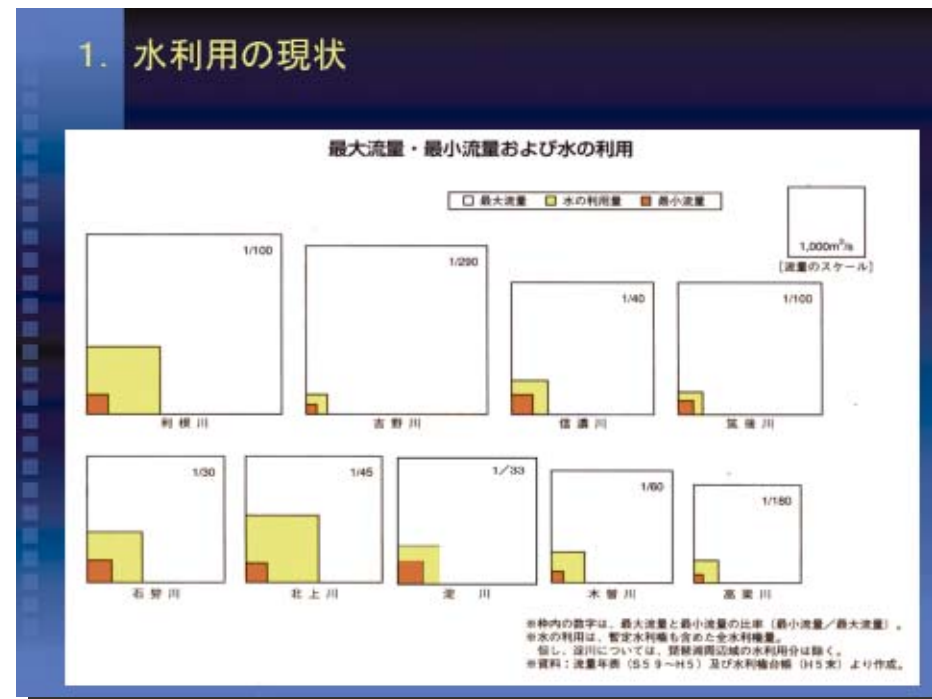
**単調、ドライから  
多様、ウェットへの取り組み**

- ① 鶺 殿
- ② 三島江河川公園
- ③ 城北ワンド

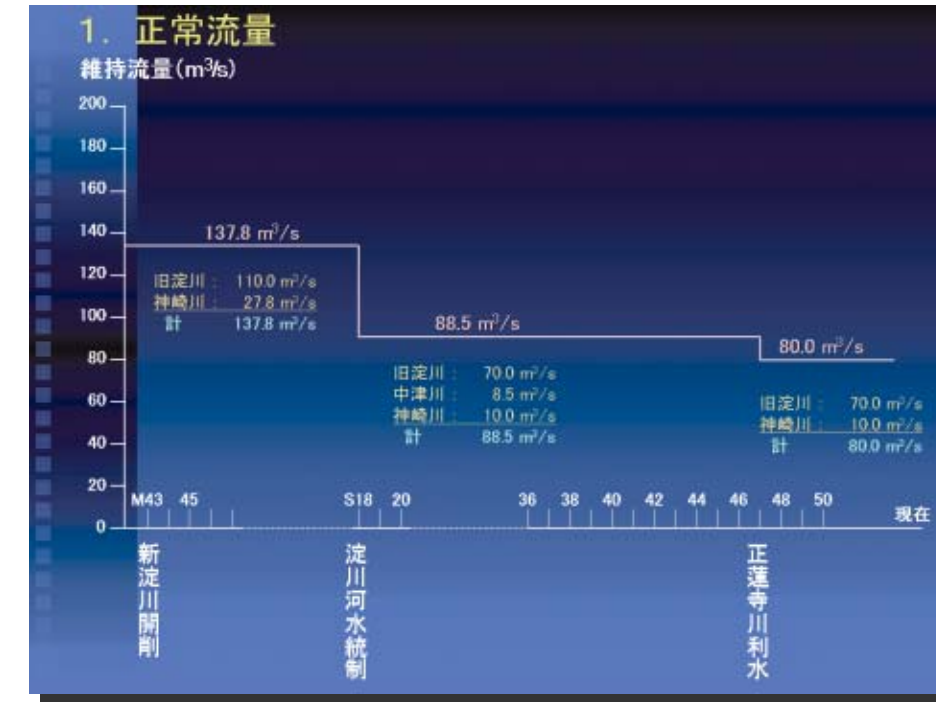
生態系(生態環境) - 「冠水面積の変化」



水利用(流量) - 「最大流量・最小流量および水の利用」



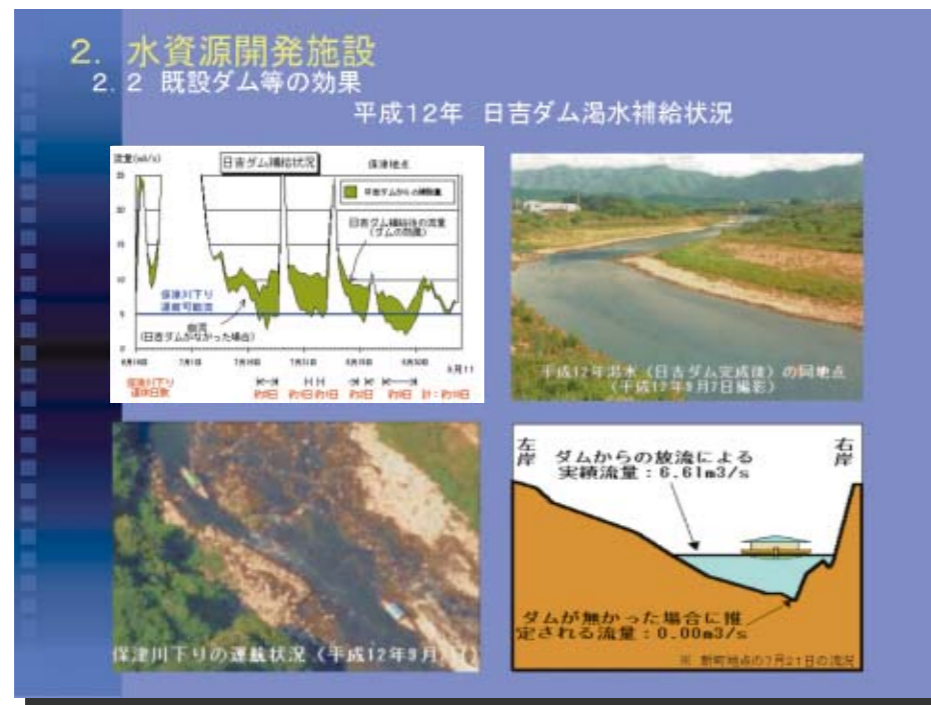
水利用(流量) - 「維持流量」



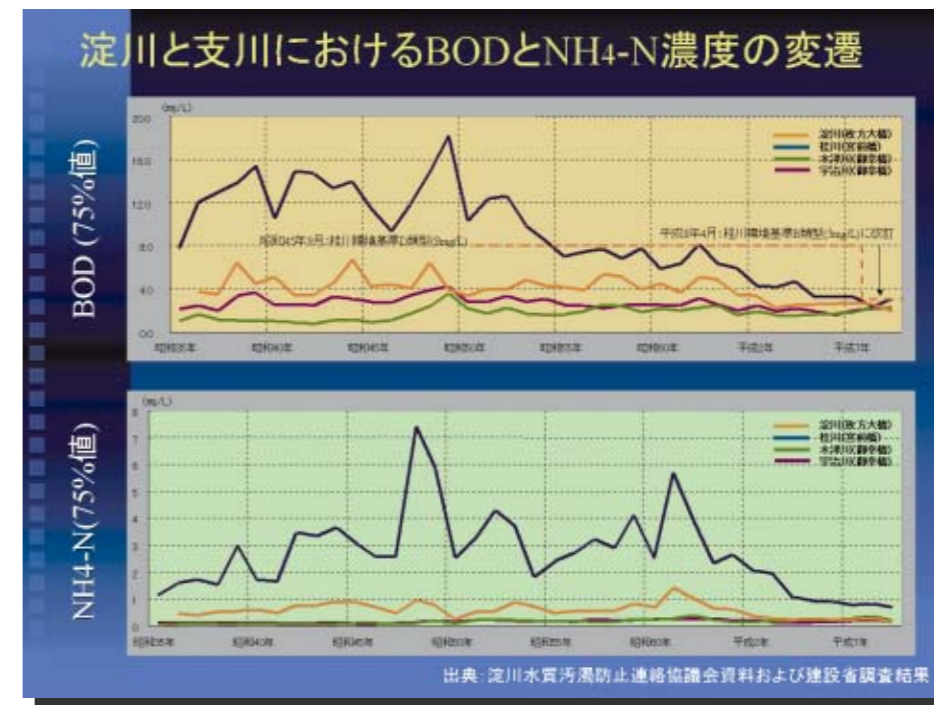
水利用(水資源開発施設) - 「完成施設(日吉ダム)」



水利用(水資源開発施設) - 「既設ダム等の効果」



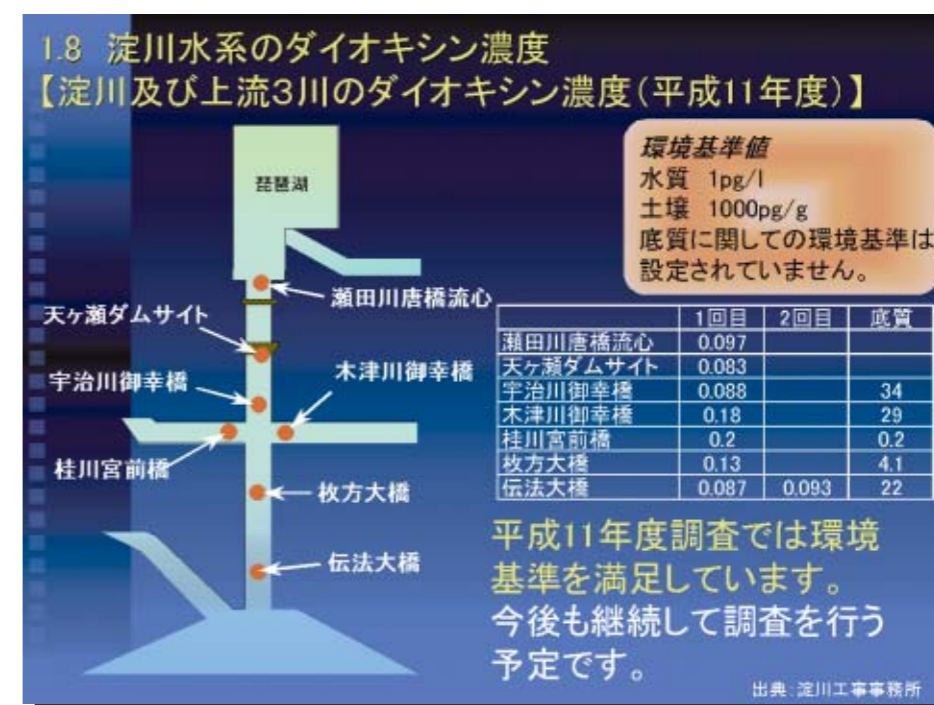
水利用(水質) 「BODとNH4-N 濃度の変遷」



水利用(湧水被害) - 「近年の湧水被害実績」



水利用(水質) 「淀川水系のダイオキシン濃度」



## これから開催される委員会および部会等について

今後開催が予定されている委員会または部会は以下の通りです。  
会議の傍聴をご希望の方、もしくはご意見等をいただける方は、電子メールまたはFAXでお申込みください(別紙)もしくはのFAX送信票をお使いください。

日時	会議	場所
10月9日(火) 16:00~20:00	第5回 猪名川部会	大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪) 10階 1003号室 大阪市北区中之島5-3-51 TEL:06-4803-5555 JR・阪神福島駅、JR東西線新福島駅から徒歩10分/市営地下鉄阿波座駅から徒歩10分/大阪駅から市バス(53系統・幹55系統)で15分、「堂島大橋」バス停すぐ 大阪駅および淀屋橋駅から、隣接するリーガロイヤルホテルへのシャトルバスもご利用いただけます
10月12日(金) 13:45~17:00	第5回 琵琶湖部会	長浜ロイヤルホテル 滋賀県長浜市大島町38 TEL:0749-64-2000 JR北陸線長浜駅から徒歩10分
10月31日(水) 13:00~17:00	第8回 淀川部会	大阪駅周辺を予定
11月1日(木) 13:30~17:00	第6回 琵琶湖部会	未定
11月29日(木) 13:00~16:00	第6回 委員会	京都駅周辺を予定

今後の会議開催日程のお知らせについて  
会議の開催日程や場所が正式に決まりましたら、最新のニュースレターやホームページ等で、随時ご報告いたします。

## これまで開催された委員会および部会等について

これまで(9月25日現在)以下の会議が開催されています。

	会議	開催日		会議	開催日
委 員 会	第1回委員会	平成13年2月1日(木)	淀 川 部 会	第1回淀川部会	平成13年5月9日(水)
	第2回委員会	平成13年4月12日(木)		第2回淀川部会(現地視察)	平成13年6月2日(土)
	第3回委員会	平成13年6月18日(月)		第3回淀川部会	平成13年7月6日(金)
	第4回委員会	平成13年7月24日(火)		第4回淀川部会(現地視察)	平成13年8月9日(木)
	第5回委員会	平成13年9月21日(金)		第5回淀川部会(現地視察)	平成13年8月11日(土)
琵 琶 湖 部 会	第1回琵琶湖部会	平成13年5月11日(金)		第6回淀川部会(現地視察)	平成13年8月19日(日)
	第2回琵琶湖部会(現地視察)	平成13年6月8日(金)		第7回淀川部会	平成13年9月10日(月)
	第3回琵琶湖部会(現地視察)	平成13年6月25日(月)	猪 名 川 部 会	第1回猪名川部会	平成13年5月23日(水)
	第4回琵琶湖部会	平成13年8月22日(水)		第2回猪名川部会(現地視察)	平成13年6月7日(木)
		第3回猪名川部会(現地視察)		平成13年6月21日(木)	
		第4回猪名川部会		平成13年8月7日(火)	
			そ の 他	設立会	平成13年2月1日(木)
				部会発足会	平成13年2月1日(木)
				第1回合同懇談会	平成13年2月1日(木)

## 淀川部会委員リスト

2001.9.17 現在  
(五十音順、敬称略)

	氏名	対象分野	所属等	備考(兼任)
1	有馬 忠雄	植物	大阪府 自然環境保全指導員	-
2	今本 博健	洪水防御(河川工学、水理学)	京都大学 名誉教授	委員会
3	大手 桂二	砂防	京都府立大学 名誉教授	-
4	荻野 芳彦	農業関係(農業水利)	大阪府立大学大学院農学生命科学研究科 教授	-
5	川上 聡	地域の特性に詳しい委員(水環境保全ネットワーク・市民活動)	川の会・名張 事務局、近畿水の塾幹事	委員会
6	紀平 肇	動物	清風学園 講師	-
7	小竹 武	地域の特性に詳しい委員	大阪市立十三中学校 校医、小竹医院 院長、淀川ネイチャークラブ 会長	-
8	田中 真澄	地域の特性に詳しい委員(自然哲学)	岩屋山志明院 住職 京都水と緑をまもる連絡会 共同代表 市民投票の会 共同代表	-
9	谷田 一三	動物(河川生態学、昆虫分類系統学)	大阪府立大学総合科学部 教授	委員会
10	塚本 明正	地域の特性に詳しい委員(幅広い分野の人のネットとコーディネイト)	川とまちのフォーラム・京都 世話役	委員会
11	寺田 武彦 (部会長)	法律	弁護士 日弁連公害対策・環境保全委員会元委員長	委員会
12	長田 芳和	動物	大阪教育大学教育学部 教授	-
13	原田 泰志	漁業関係	三重大学生物資源学部 助教授	-
14	横村 久子	地域・まちづくり(地域計画・景観文化論)	京都女子大学現代社会学部 教授 (社)なら女性フォーラム 副理事長	-
15	榎屋 正 (部会長代理)	地域の特性に詳しい委員	地球環境関西フォーラム 事務総長	委員会
16	山岸 哲	動物	京都大学大学院理学研究科 教授	-
17	山本 範子	地域の特性に詳しい委員	流域住民	-
18	和田 英太郎	水質(同位体生態学)	総合地球環境学研究所 教授、京都大学生態学研究センター教授	-
19	渡辺 賢二	水環境	上桂川漁業協同組合 事務局長	-

部会長からの依頼により出席されている淀川部会以外の委員

	氏名	対象分野	所属等	備考(所属会議)
-	倉田 亨	農林漁業	近畿大学 名誉教授	委員会・琵琶湖部会

注:対象分野欄の( )は委員の専門を示しています。



## 当日資料の閲覧・入手方法

紙面の都合上、ニュースレターでは資料内容を省略していますが、以下の方法で資料を閲覧、または入手することができます。

### ホームページ

委員会で使用した資料は、ホームページで公開しております。アドレスは以下の通りです。

<http://www.yodoriver.org>



### 閲覧

資料の閲覧を希望される方は、庶務までご連絡ください。

### 郵送

郵送による資料の送付を希望される方には、送料実費にて承っております（希望部数が多い場合には、コピー代も実費でいただくことがありますので、予めご了承ください）。

ご希望の方は、別紙の「FAX送信票」にご記入のうえ、FAXまたは郵送で庶務までお申し込みください。

別紙

淀川水系流域委員会  
ご意見用FAX送信票

**FAX:06-6341-5984**

淀川水系流域委員会 庶務宛  
((株)三菱総合研究所 関西研究センター 森永、北林)

### 1. 淀川水系流域委員会へのご意見をご記入ください。

寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。公表に支障がある場合にはその旨も併せてご記入いただきますよう、お願いいたします。

ご意見を公表する場合には、団体・会社名(または居住地)とお名前も公表いたしますので予めご了承ください。

### 2. 下記にご記入下さい。

団体・会社名( )  
ご住所(〒 )

TEL( )

E-Mail( )

お名前( )

別紙

淀川水系流域委員会傍聴申込  
および資料請求用 F A X 送信票

**FAX:06-6341-5984**

淀川水系流域委員会 庶務宛  
( (株)三菱総合研究所 関西研究センター 森永、北林 )

1. 委員会または部会への傍聴を希望される方は、下記に希望する会議の名称と開催日をご記入下さい。会議開催の4日前までに傍聴を受け付けた場合は「受付のお知らせ」ハガキをお送りします。

会議のお知らせは、本ニュースレターのP.13もしくはホームページを参照下さい。

開催日 例)10月9日	会議名 例)第5回猪名川部会		

2. 第3回淀川部会の資料郵送を希望される方は、必要な資料の部数を、下記リストにご記入下さい。

資料名		ボリューム ( )内は頁数	部数
議事次第		A4(1)	
資料1	第3回委員会速報	A4(4)	
資料2	次回現地視察の出欠状況とご意見	A4(2)	
資料3	会議の運営に関する決定事項	A4(2)	
参考資料1	第1回部会、第2回部会(現地視察)の概要	A4(3)	
参考資料2	委員および一般からの意見	A4(8)	

3.下記にご記入下さい。(必ず ~ 全てにご記入下さい)

団体・会社名 ( )  
ご住所 (〒 )

T E L ( )

E - mail ( )

お名前(複数名での傍聴を申し込まれる場合には、全ての方のお名前をお書き下さい。)


## 淀川水系流域委員会 淀川部会ニュース No.3

2001年10月発行

【編集・発行】淀川水系流域委員会

【連絡先】淀川水系流域委員会 庶務

株式会社 三菱総合研究所 関西研究センター

研究員：新田、柴崎、原

事務担当：桐山、森永、北林

〒530-0003 大阪市北区堂島2-2-2(近鉄堂島ビル7F)

TEL:(06)6341-5983 FAX:(06)6341-5984

E mail:k-kim@mri.co.jp

流域委員会ホームページアドレス

<http://www.yodoriver.org>

ニュースレターは以下の機関でも配布しています。

国土交通省 近畿地方整備局 / 淀川工事事務所 / 琵琶湖工事事務所 / 大戸川ダム工事事務所 / 淀川ダム統合管理事務所 / 猪名川工事事務所 / 猪名川総合開発工事事務所 / 木津川上流工事事務所 / 水資源開発公団 関西支社 / 滋賀県 土木交通部河港課 / 京都府 土木建築部河川課 / 大阪府 土木部河川室 / 兵庫県 土木部河川課 / 奈良県 土木部河川課 / 三重県 伊賀県民局

\* ニュースレターは最新号、バックナンバーともに、ホームページでもご覧頂けます。